



## 平成28年度栃木県養護教育研修会が開催されました。

参加者480名

日時 平成28年6月28日(火)

場所 栃木県総合文化センター大ホール

### 1 開 会

#### 2 会長あいさつ 増淵 正典 会長

今年度より運動器検診が加わりました。唯一のスポーツ科がある勤務校の小山南高校では、運動のやり過ぎを検診で指摘されることもありました。練習、休養、栄養のバランスが必要と思われます。

今日の研修テーマの「ヒヤリ・ハット」とは、職務実践において「ヒヤッとしたり・ハットしたり」失敗してしまったが大きな事故には至らなかった事象のこと。「しろたえ」の事例を共有して、事故の防止に努めて欲しいと思います。

8月には栃木県で関東甲信越静学校保健大会が開催され、本会から運営委員として30名の方に協力していただきます。多数、参加してください。



#### 3 来賓あいさつ 栃木県教育委員会事務局健康福利課長 伊藤 満 様

心身の課題の増加と複雑多様化のため、保健室ではきめ細やかな対応が望まれます。養護教諭は、地域のコーディネーターとしても期待されています。虐待やいじめが問題になっていますが、養護教諭の気づきの対応で、心身の不調や危機から子供達を守っていただきたいと思います。

11年ぶりに本県で開催される関東甲信越静学校保健大会には、多くの先生方の参加いただけるようお願いします。

#### 4 講 話「学校保健の現況について」

講師 栃木県教育委員会事務局保健給食担当指導主事 大森 和枝 様

##### ○ 児童生徒の健康診断について

- ・保健調査や成長曲線を内科検診で活用できるよう、学校医に提示できるよう整理しておいてください。
- ・視力検査時の照度の確認をしてください。
- ・歯及び口腔の疾病及び異常の有無：サロライト扱いについては学校歯科医と相談するようにしてください。検査の流れが①顎関節→②歯列・咬合→③歯垢の状態→④歯肉の状態に変更になりました。

##### ○ アレルギー疾患の対応

学校生活管理指導表の追加された内容は、①原因食物「味噌・醤油」 ②摂取した時の症状 ③製造ラインや共用皿について ④最後に食べて症状が出た年齢 ⑤救急搬送時の救急隊や搬送先機関への本表提示について同意の有無の5つです。

##### ○ 学校において予防すべき感染症一種類と出席停止期間の基準一

平成24年度以降に追加されたものは、中東呼吸器症候群、特定鳥インフルエンザ、髄膜炎菌性髄膜炎です。また、出席停止の期間の基準はあくまでも基準なので医師の診断が優先されることもあります。ただし、出席停止については学校長が学校医と相談し、その際の治癒証明書は法的根拠はないので慎重に取り扱うようにしてください。

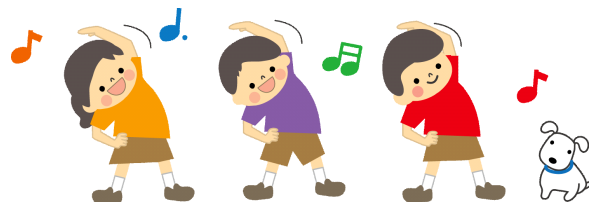
##### ○ その他

・脳脊髄液減少症：疾病について情報提供した学校は60%でした。保健だよりや職員会議で情報提供してください。ブラッドパッチ療法が平成28年度4月から保険適用になります。



・子宮頸がん予防ワクチン接種に関連したと思われる症状により、教育活動の制限が生じた生徒への適切な対応が組織としてできるようにお願いします。

・夏期休業前に周知したい内容は、①光化学スモッグ ②熱中症予防 ③蚊媒介感染症 ④事故防止と緊急時の対応です。



## 5 研究発表

### ①「養護教諭が関わる性に関する指導～学級活動での実践を通して～」

発表者 佐野市立吾妻小学校 鶴田 詩織 先生  
佐野市立葛生小学校 岡部 愛子 先生

班別で研修の中から小学校 A 班の内容の発表がありました。佐野市小教研 保健安全部会「性に関する指導資料」、佐野市「学級活動地域プラン」を基に検討し、各校の性に関する指導計画を作成し、指導内容に差が出ないように内容を整理し、板書計画も作成しました。実施した 1 年生「きれいなからだ」の実践から、「たくさんの資料があり集中して聞いていた」「板書計画があり授業 展開がわかりやすかった」「意欲を高めるために効果的だった」と担任から感想が出ました。



### ②「特別支援における性教育について」

発表者 栃木県立足利中央特別支援学校 杉 幸恵 先生  
始めに、足利市内の各高等学校の性教育について、講師や対象学年やテーマの発表がありました。続いて自校の取り組みについて、実際の資料をまじえながら、資料作成で工夫したことや指導中の留意点が発表されました。

## 6 総会

議長に上三川町立北小学校の森千鶴子先生と上三川町立明治小学校の石川千加子先生が選出され、スムーズに議事が進められました。平成 28 年度の事業計画と予算書が決定しました。

## 7 諸連絡

- ①調査研究報告について：ヒヤリ・ハットの研究イメージ（しろたえ 9 ページ参照）と「養護教諭の執務に関する調査」について説明がありました。
- ②レベルアップ研修会について：申込み方法、会場や駐車場について、お知らせがありました。
- ③関係研修会について：とちぎ思春期研究会、栃木県小児保健会研修会、全国性教育研究大会等の研修会について、お知らせがありました。

## 8 講演「事例から学ぶ養護教諭のヒヤリ・ハット」

講師 女子栄養大学栄養学部 准教授 大沼久美子先生

### 養護教諭のヒヤリ・ハットの定義

学校教育活動全体に関わる養護教諭の職務実践において、重大な災害や事故、信用を失墜する事態には至らないものの、それに直結してもおかしくない一歩手前の事例。文字どおり突発的な事象やミスにヒヤリとした、ハットしたり、失敗してしまった事象。



学校には、いろいろな職種が入り役割が細分化されてきています。養護教諭として職務をしっかりと明確化していくことが必要です。養護教諭は常時学校にいるからこそ、子供の様子がわかります。心と体を一緒にアセスメントして対応できます。養護教諭は、学校の中核として、子供の元気を支えて欲しいと思います。

事例の検討では「①何にヒヤリ・ハットしたのか ②どうしてそうなってしまったのか ③背景要因のカテゴリーではどれにあたるか ④どうすればヒヤリを防ぐことができるか」の視点で、グループで協議し、みんなの実践を持ち寄って検討していくことがヒヤリ・ハットを未然に防ぐことにつながります。

アレルギーを例に、ヒヤリ・ハットの実態や栃木県の調査結果を用いながら、わかりやすくお話しくださいました。

○質問 小山市立大谷北小学校 谷田貝 洋子 先生より、担任がヒヤリ・ハットすることもあるので、担任の先生にメッセージをいただきたい。

回答 アレルギーもけがも最前線で見ているのは担任の先生です。「担任が見てくれるからこそ子供が守られている。いつもと違うことをキャッチしてください」と伝えてください。養護教諭は教室の様子がわかりません。「○○ちゃんの教室の様子はどうでしたか？」という質問が担任の観察力を高めます。

## 9 閉会

「今回の研修会では、上三川、南那須地区が当番地区でした。朝早くから閉会後の会場片付けまでご協力いただき、ありがとうございました。」

